

夙川・苦楽園をめぐる

：カリヨンの音色とスイーツ探訪：



夙川駅を後に少し西へ進むと見えてくる尖塔は夙川カトリック教会です。現在、1932年創建当時のカリヨン(鐘)も修復でき、その鐘の音色は夙川の町に心地よく響いています。少し坂を登ると、上田安子記念館ではオートクチュールの歴史をご覧いただけます。

その後、苦楽園に向かって坂道を登ると、どこからか甘い香りが漂ります。名パティシエの集まるこの界隈で、お土産のスイーツを思う存分お買い求めください。

夙川カトリック教会

尖塔が美しいネオゴシック様式の建築物で、昭和7年（1932年）に建てられました。毎年クリスマスやイースターシーズンには多くの市民が訪れ、教会バザーやバロック音楽演奏会（テレマンなど）を通して、市民に親しまれています。また、今年からは、日本最古のカリヨンの鐘が、ボランティアの手で約20年ぶりに復活しました。時計が動き出し、時報や自動演奏が作動するようになり、夙川の町に心地よい鐘の音を響かせています。

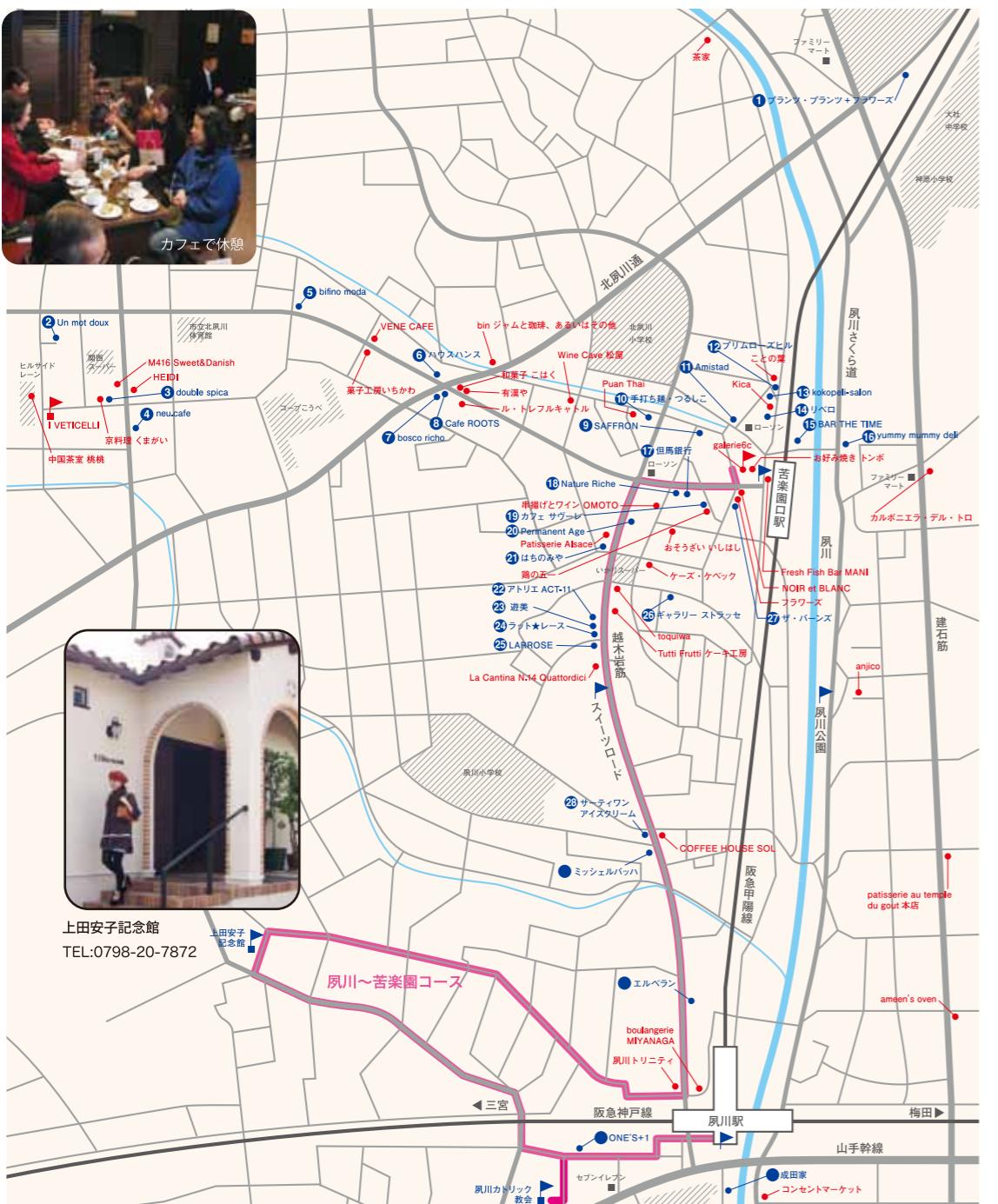


上田安子記念館

クリスチヤン・ディオールのオートクチュール技術を初めて日本に紹介した服飾デザイナーであり、上田学園を創設した服飾教育者、上田安子氏の功績を記念して設立されました。彼女がデザインした衣装作品やデザイン画、素材集などを展示しています。



カフェで休憩



マップ制作：苦楽園ストアーズミーティング



夙川カトリック教会